

技術・製品などに関する情報提供依頼一覧(令和8年10月)

	情報提供を依頼する技術・製品等	背景	技術・製品等に求める内容	参考(NEXCO中日本グループ内での類似製品)
1	災害時に発生した路面の段差を早期に解消する技術・製品	地震などの災害時に発生した道路路面の段差部を解消し、緊急車両等の通行を確保するための応急対応として、土のうを用いたスロープの設置が一般的である。しかし、設置労力や設置後の使用期間に課題があるため、これらを解決できる技術・製品が求められている。	①80cm程度までの段差一箇所あたり、4～5人の人力のみで設置可能であること ②80cm程度までの段差一箇所あたり、短時間(30分程度以内)で設置可能であること ③設置後は大型車(20t程度)の通行が可能で、1ヵ月程度以上使用できること ④一製品の保管は小スペース(2㎡程度以下)であること	ジオスロープ工法 (中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸㈱) https://catalog.express-highway.or.jp/products/p10013586.html
2	鋼部材の一液一層塗りにによる簡易防錆処理剤	道路構造物を点検した際に鋼部材に軽微な腐食が確認された場合、あわせて簡易的な防錆処理を施している。しかし、防錆効果が長時間持続しないのが現状である。このため、防錆処理後、次の点検までの5年間、防錆効果が維持できる材料が求められている。	①施工性・作業性に優れること (刷毛またはスプレーで一液一層塗りで液等の垂れがなく、防食テープ等の巻き付け等を不要とするもの) ②施工が環境に左右されないこと(気温2℃以上、湿度が99%以下で施工可能) ③軽微な下地処理で10年程度以上の防錆効果を有すること (例:3種ケレンした試験体に施工したものをJIS H8502に基づいて複合サイクル試験で200サイクル実施しても、赤錆・膨れ・剥がれ等が殆どないことが確認できていること)	ターマラスト (中日本高速技術マーケティング㈱) https://www.c-nexco-tech.co.jp/lineup/file/Tamalast_pamphlet.pdf#view=Fit
3	簡易に設置、撤去が可能な車線規制材	高速道路上で工事等の作業を行う場合、車線規制材を設置して規制帯を設けるが、作業の近傍では高速の一般車両が走行しており、一般車両が突入した際の作業員の安全確保が課題となっている。そのため、これを防護し、簡易に設置、撤去できる規制材が求められている。	①起点・終点どちら側からでも設置・撤去が可能であること また、途中の規制材を容易に中抜きすることが可能であること ②1パーティーで1時間あたり40m程度以上設置が可能なこと ③規制材設置後に規制材同士の連結作業が不要なこと ④車両用防護柵種別A種相当であることを確認していること	SSSガード (中日本高速道路㈱ 共同開発) https://www.maruji.com/product_detail/sssguard/
4	全天候型の常温合材用プライマー	雨天時にアスファルト舗装にポットホールが発生した場合は、緊急規制のもと短期間で補修を行うことになり、湿潤環境下で常温合材による仮補修を行うことが要求されている。しかし、湿潤条件下での仮補修では基層と補修材の付着が不十分になることがあり、その結果として本補修までの間にポットホールが再発することが確認されている。そのため、湿潤状況下でも基層と補修材との付着力を確保できる材料が求められている。	①全天候型で、常温で施工するアスファルト合材とアスファルト層およびコンクリート床版の間に接着性を有すること ②可使時間は、塗布から数均しまでの作業時間を考慮し、20分以上有すること	ハイウェイ・ハイドロプライマー (中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱) https://www.c-nexco-hmn.jp/products/product_list/product42/